

2クラス復活へ向け同時開催

体験入学と保護者説明会



瀬戸内町の県立古仁屋高校（佐久間健土校長、生徒125人）で22日、町内の中学3年生を対象とした体験入学と保護者向け説明会があった。97人の中学生とその保護者25人が参加し、校内見学や授業を体験。部活動見学や体験授業で高校生気分を味わった中学生らは、進路選択や高校生活のイメージを膨らませていた。

古仁屋高校

人の中学生とその保護者25人が参加

生徒数の減少が課題となっている同校では、2011年から町内の全中学3年生を対象に5月と7月に体験入学を実施している。昨年9月には保護者を対象にした初の説明会も開催した。体験入学と保護者説明会を同時に行うのは今回が初めて。

体験授業ではALT（外国語指導助手）による英語の授業のほか、アコースティックギター1の演奏やビジネス文書作成など四つの授業があった。保護者らも校内の施設や体験授業の様子を見学し、進路選択の参考にした。

英語の授業を受けた

保護者に見守られながら音楽の授業を体験した中学生たち。22日、古仁屋高校

与路中の榮由海夏さん（14）は「たくさんの生徒と勉強できて楽しかった。学校の雰囲気も良かった」と話していた。保護者からも「出身校なので存続のためにも子どもには古仁屋高に進んでほしい」「高校後の進路を考えたい時に、古仁屋高は地元で1人ずつ個別指導してくれる。とても良い感じだった」などの意見があり、好評だった。

二石政彦教頭は「2クラス復活に向けて頑張ろうという機運が高まっている。地元の方に支えられてこの学校なので、町内進学率を6割以上にするためにも学校について理解を深めてもらえればうれしい」と話していた。